

ムソルグスキー『展覧会の絵』 テスト対策練習問題と過去問まとめ

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 「展覧会の絵」の作曲者を答えなさい。

問2 「展覧会の絵」の作曲者の国を答えなさい。

問3 ムソルグスキーが活躍した音楽的時代として正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：バロック時代

イ：古典派

ウ：ロマン派

エ：近現代

問4 ムソルグスキーのように、自分の国や民族の歴史・伝説・民謡・自然などを音楽に取り入れようとした作曲家の流れを何というか答えなさい。

問5 ムソルグスキーが属していた、ロシア独自の音楽を作ろうとした作曲家たちのグループを何というか答えなさい。



問6 ムソルグスキーの代表作として正しいものを、次の中からすべて選び、○で囲みなさい。

- ア：「四季」
- イ：「はげ山の一夜」
- ウ：「ボリス・ゴドゥノフ」
- エ：「新世界より」

問7 「展覧会の絵」が作曲された年として正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：1725年
- イ：1874年
- ウ：1928年
- エ：1947年

問8 「展覧会の絵」が作曲されるきっかけとなった人物の名前を答えなさい。

問9 ハルトマンについて説明している文として正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：ムソルグスキーの友人で、建築家・画家・デザイナーとして活動した人物
- イ：ムソルグスキーにピアノを教えたフランスの作曲家
- ウ：「展覧会の絵」を管弦楽版に編曲した人物
- エ：ロシア五人組の中心となった指揮者



問10 「展覧会の絵」が作曲されたきっかけとして正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：皇帝の即位を祝うため
- イ：友人ハルトマンの遺作展から着想を得たため
- ウ：教会の礼拝で合唱するため
- エ：軍隊の行進曲として演奏するため

問11 「プロムナード」という言葉の意味として正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：祈り
- イ：舞踏会
- ウ：散歩・歩くこと
- エ：戦い

問12 「展覧会の絵」におけるプロムナードの役割として最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：作品の冒頭や、いくつかの絵の曲の間に登場し、展覧会を歩く様子を表して作品全体をつなぐ
- イ：最後の曲だけに出てきて、鐘の響きを表す
- ウ：ひなどりがすばやく動く様子だけを表す
- エ：市場で人々が会話する様子だけを表す

問13 ラヴェルの管弦楽版で、最初のプロムナードを印象的に演奏する楽器として正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：サクソフォーン
- イ：トランペット
- ウ：チェレスタ
- エ：スネアドラム



問14 「展覧会の絵」の原曲の演奏形態として正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：ピアノ独奏
- イ：混声三部合唱
- ウ：弦楽四重奏
- エ：オペラ

問15 「展覧会の絵」を管弦楽版に編曲したことで有名な作曲家を答えなさい。

問16 ラヴェルについて説明している文として正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：ロシア五人組の一人で、「展覧会の絵」の原曲を作曲した
- イ：フランスの作曲家で、「展覧会の絵」を管弦楽版に編曲した
- ウ：ハルトマンの遺作展を開いた画家である
- エ：「キエフの大門」を設計した建築家である

問17 「展覧会の絵」について説明している文として正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：ムソルグスキーが作曲した管弦楽曲を、ラヴェルがピアノ独奏用に編曲した
- イ：ラヴェルが作曲したピアノ曲を、ムソルグスキーが管弦楽用に編曲した
- ウ：ムソルグスキーが作曲したピアノ独奏曲を、ラヴェルが管弦楽用に編曲した
- エ：ハルトマンが作曲した歌曲を、ムソルグスキーが管弦楽用に編曲した



問18 ラヴェルが「管弦楽の魔術師」と呼ばれる理由として最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：オーケストラの楽器の音色を巧みに使うことにすぐれていたから
- イ：歌詞を作ることだけを得意としていたから
- ウ：すべての曲をピアノだけで作曲したから
- エ：ロシア民謡だけを集めて作曲したから

問19 「古城」について説明している文として正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：ロシアの民話に出てくる魔女の小屋を表している
- イ：古い城と吟遊詩人を思わせる、もの悲しい雰囲気のある曲である
- ウ：市場で人々がにぎやかに話す様子を表している
- エ：ひなどりの衣装を着た子どもたちが踊る様子を表している

問20 ラヴェルの管弦楽版で、「古城」に印象的に使われる楽器として正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：ティンパニ
- イ：スネアドラム
- ウ：アルトサクソフォーン
- エ：チェレスタ

問21 「卵の殻をつけたひなどりのバレエ」について説明している文として最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：重い荷車がゆっくり近づいて遠ざかる様子を表す
- イ：地下墓地の重く静かな雰囲気を表す
- ウ：卵の殻を身につけた、ひなどりの衣装の子どもたちが軽やかに踊る様子を表す
- エ：大きな門と鐘の響きを表す



問22 「ピドロ」について説明している文として正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：牛に引かれた重いポーランドの荷車が、ゆっくり進む様子を表すとされる曲
- イ：作品の冒頭や、いくつかの絵の曲の間に登場する曲
- ウ：パリの庭園で遊ぶ子どもたちの言い合いを表す曲
- エ：未建設の記念門の設計案をもとにした終曲

問23 「テュイルリーの庭」について説明している文として正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：バーバ・ヤガーの小屋を表す曲
- イ：パリの庭園で遊ぶ子どもたちの様子を表す曲
- ウ：古い城の前で吟遊詩人が歌う様子を表す曲
- エ：作品の最後を飾る壮大な曲

問24 「リモージュの市場」について説明している文として最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：こびとの不安定な動きを表す
- イ：牛車がゆっくり進む様子を表す
- ウ：市場で人々がにぎやかに話している様子を表す
- エ：鐘のような響きで大きな門を表す

問25 「鶏の足の上に建つ小屋」と関係が深い、ロシアの民話に出てくる魔女の名前を答えなさい。



問26 「カタコンブ」について説明している文として正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：地下墓地を表す、重々しく暗い雰囲気曲
- イ：ひなどりの衣装を着た子どもたちが踊る様子を表す曲
- ウ：展覧会場を歩く様子を表す曲
- エ：軽快な舞曲を表す曲

問27 「キエフの大門」について説明している文として最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：作品の冒頭だけに出てくる、絵から絵へ歩く様子を表す曲
- イ：もの悲しい古城と吟遊詩人を表す曲
- ウ：ロシアの民話に出てくる魔女の小屋を表す曲
- エ：作品の最後を飾る、壮大な門と鐘の響きを思わせる曲

問28 次の曲名と情景の組み合わせとして、正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：古城 — アルトサクソフォーンのもの悲しい音色
- イ：ひなどり — 牛に引かれた重い荷車の動き
- ウ：ビドロ — 市場のにぎやかな会話
- エ：キエフの大門 — こびとの不安定な動き

問29 「展覧会の絵」の説明として正しいものをすべて選び、○で囲みなさい。

- ア：プロムナードは、作品の冒頭や、いくつかの絵の曲の間に登場する。
- イ：原曲はピアノ独奏曲である。
- ウ：ラヴェルが作曲し、ムソルグスキーが管弦楽版に編曲した。
- エ：「キエフの大門」は作品の最後を飾る壮大な曲である。



問30 「展覧会の絵」の特徴を説明した文として最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：同じリズムと2つの旋律を繰り返しながら、全体として次第に大きく盛り上がる曲である。
- イ：展覧会で絵を見て歩く様子と、それぞれの絵の情景を音楽で表した作品である。
- ウ：春の訪れ、小鳥、雷鳴などをソネットに沿って表した協奏曲である。
- エ：川の2つの源流からプラハへ流れていく情景を表した交響詩である。

問31 次の説明に合う曲名を次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

「展覧会場で、絵から絵へ歩いていく様子を表す音楽。ラヴェルの管弦楽版では、最初にトランペットが印象的に演奏する。」

- ア：プロムナード
- イ：ビドロ
- ウ：カタコンブ
- エ：キエフの大門

問32 次の説明に合う曲名を次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

「ロシア民話の魔女バーバ・ヤガーの小屋を表す曲。激しいリズムや迫力のある音で、不気味な雰囲気を表している。」

- ア：古城
- イ：鶏の足の上に建つ小屋
- ウ：テュイルリーの庭
- エ：卵の殻をつけたひなどりのバレエ



問33 次の説明に合う曲名を次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

「作品の最後を飾る壮大な曲。大きな門や鐘の響きを思わせ、金管楽器や打楽器も加わって大きく盛り上がる。」

ア：プロムナード

イ：こびと

ウ：キエフの大門

エ：リモージュの市場



ムソルグスキー『展覧会の絵』 テスト対策練習問題と過去問まとめ（解答）

問1 ムソルグスキー

【解説】「展覧会の絵」の作曲者は、ロシアの作曲家モデスト・ムソルグスキーだよ。フルネームではモデスト・ペトローヴィチ・ムソルグスキーと表記されることもあるよ。テストでは、まず「ムソルグスキー」を答えられるようにしておこう。

問2 ロシア

【解説】ムソルグスキーはロシアの作曲家だよ。「ムソルグスキー＝ロシア」「国民楽派」「ロシア五人組」とセットで覚えよう。

問3 ウ

【解説】ムソルグスキーは、ロマン派の時代に活躍した作曲家だよ。また、自分の国や民族の文化を音楽に表そうとした国民楽派として扱われることがあるよ。

問4 国民楽派

【解説】国民楽派とは、自分の国や民族の文化を音楽で表現しようとした作曲家たちの流れのことだよ。ムソルグスキーは、ロシアらしい音楽を作ろうとした作曲家として重要なんだ。

問5 ロシア五人組

【解説】ロシア五人組は、ロシア独自の音楽を作ろうとした作曲家たちのグループだよ。ムソルグスキーはその一人なんだ。ほかに、バラキレフ、キュイ、ボロディン、リムスキー＝コルサコフがいるよ。

問6 イ・ウ

【解説】「はげ山の一夜」と歌劇「ボリス・ゴドゥノフ」は、ムソルグスキーの代表作として知られているよ。「四季」はヴィヴァルディ、「新世界より」はドヴォルザークの作品だよ。



問7 イ

【解説】「展覧会の絵」は1874年に作曲されたよ。1874年は、ムソルグスキーが友人ハルトマンの遺作展から強い印象を受けて、この作品を作った年なんだ。

問8 ハルトマン（ヴィクトル・ハルトマン）

【解説】ハルトマンは、ムソルグスキーの友人だった人物だよ。建築家・画家・デザイナーとして活動していたけれど、若くして亡くなってしまったんだ。その遺作展を見たムソルグスキーが、強い印象を受けて作曲したのが「展覧会の絵」だよ。

問9 ア

【解説】ハルトマンは、ムソルグスキーの友人で、建築家・画家・デザイナーとして活動した人物だよ。「展覧会の絵」は、ハルトマンの遺作展がきっかけで作られた作品なんだ。

問10 イ

【解説】「展覧会の絵」は、友人ハルトマンの遺作展を訪れたムソルグスキーが、そこで見た作品や友人の作品から受けた印象をもとに、想像を広げて作曲した作品だよ。

問11 ウ

【解説】プロムナードは、フランス語で「散歩」「歩くこと」という意味だよ。「展覧会の絵」では、作品の冒頭や、いくつかの絵の曲の間に登場し、展覧会場で次の絵へ歩いていく様子を表しているんだ。

問12 ア

【解説】プロムナードは、作品の冒頭や、いくつかの絵の曲の間に登場する音楽だよ。

展覧会場で次の絵へ歩く様子を表し、作品全体をつなぐ大切な役割を持っているんだ。

出てくるたびに調や響き、雰囲気が少しずつ変化するよ。



問13 イ

【解説】ラヴェルの管弦楽版では、最初のプロムナードをトランペットが力強く演奏するよ。展覧会の始まりを告げるような、堂々とした響きが特徴なんだ。

問14 ア

【解説】「展覧会の絵」の原曲は、ムソルグスキーが作曲したピアノ独奏曲だよ。現在ではラヴェルによる管弦楽版も有名だけれど、原曲はピアノ曲であることをおさえよう。

問15 ラヴェル

【解説】ムソルグスキーのピアノ曲「展覧会の絵」を、管弦楽版に編曲したことで有名なのは、フランスの作曲家ラヴェルだよ。ラヴェルは「ボレロ」の作曲者でもあり、「管弦楽の魔術師」と呼ばれることがあるよ。

問16 イ

【解説】ラヴェルはフランスの作曲家で、ムソルグスキーの「展覧会の絵」を管弦楽版に編曲したことで知られているよ。「展覧会の絵」の作曲者はムソルグスキー、管弦楽編曲はラヴェルと分けて覚えよう。

問17 ウ

【解説】「展覧会の絵」は、ムソルグスキーが作曲したピアノ独奏曲だよ。その後、ラヴェルが管弦楽版に編曲したものがとても有名になったんだ。作曲者と編曲者を逆にしないように注意しよう。

問18 ア

【解説】ラヴェルは、オーケストラの楽器の音色を巧みに使うことにすぐれていたため、管弦楽の魔術師と呼ばれることがあるよ。「ボレロ」と「展覧会の絵」のラヴェル編曲をつなげて覚えると整理しやすいよ。



問19 イ

【解説】「古城」は、古い城の前で吟遊詩人が歌っている情景を描いたとされる、静かでもの悲しい雰囲気曲だよ。

もともになったとされるハルトマンの絵は現在確認されていないため、情景については当時の説明にもとづいて伝えられているんだ。

ラヴェルの管弦楽版では、アルトサクソフォーンが印象的に使われるよ。

問20 ウ

【解説】ラヴェルの管弦楽版では、「古城」でアルトサクソフォーンが印象的に使われるよ。

アルトサクソフォーンのやわらかく、少しさびしげな音色が、古城の雰囲気に合っているんだ。

問21 ウ

【解説】「卵の殻をつけたひなどりのバレエ」は、ハルトマンがバレエのために描いた、ひなどりの衣装デザインをもとにした曲だよ。

卵の殻を身につけた子どもたちが、軽くすばやく踊る様子が表されているんだ。

問22 ア

【解説】「ビドロ」は、牛に引かれた重いポーランドの荷車が、ゆっくり進む情景を表す曲とされているよ。

低く重い響きや繰り返されるリズムによって、牛の力強い足取りや、大きな車輪をもつ荷車が進む様子が表されているんだ。

問23 イ

【解説】「テュイルリーの庭」は、パリにある庭園で遊ぶ子どもたちの様子を表している曲だよ。軽くにぎやかな雰囲気が特徴だよ。

問24 ウ

【解説】「リモージュの市場」は、市場で人々がにぎやかに話しているような曲だよ。速いテンポや細かい音の動きによって、ざわざわした会話や活気が表されているんだ。



問25 バーバ・ヤガー

【解説】「鶏の足の上に建つ小屋」は、ハルトマンが描いた、魔女バーバ・ヤガーの小屋をかたどった時計のデザインをもとにした曲だよ。

ムソルグスキーはそこから想像を広げ、バーバ・ヤガーが激しく動き回り、空を飛ぶような様子を音楽で表したんだ。

問26 ア

【解説】「カタコンブ」は、ハルトマンたちがパリの地下墓場を訪れている絵から着想した曲だよ。

低い音や重い和音によって、地下の広い空間や墓場の厳かな雰囲気が表示されているんだ。

続く「死者とともに死者の言葉で」では、プロムナードの旋律が静かで暗い姿に変わって現れるよ。

問27 エ

【解説】「キエフの大門」は、「展覧会の絵」の最後を飾る壮大な曲だよ。大きな門や鐘の響きを思わせる、堂々とした音楽になっているよ。現在の地名表記では「キーウ」と書かれることもあるけれど、音楽作品の曲名としては「キエフの大門」という表記がよく使われるよ。

問28 ア

【解説】「古城」は、ラヴェルの管弦楽版でアルトサクソフォーンが印象的に使われる曲だよ。

もの悲しく、やわらかい音色が、古い城や吟遊詩人の雰囲気を表しているんだ。

ひなどりは卵の殻を身につけた衣装の子どもたちの軽やかな踊り、ビドロは牛に引かれた重い荷車、キエフの大門は壮大な終曲だよ。

問29 ア・イ・エ

【解説】ア・イ・エは正しいよ。

プロムナードは、作品の冒頭や、いくつかの絵の曲の間に登場し、展覧会場を歩く様子を表しているんだ。ウは作曲者と編曲者が逆になっているので誤り。

「展覧会の絵」は、ムソルグスキーが作曲したピアノ独奏曲で、ラヴェルによる管弦楽版が有名だよ。



問30 イ

【解説】「展覧会の絵」は、展覧会で絵を見て歩く様子と、それぞれの絵の情景を音楽で表した作品だよ。

アはラヴェル「ボレロ」、ウはヴィヴァルディ「春」、エはスメタナ「ブルタバ」の説明だよ。

問31 ア

【解説】説明に合う曲はプロムナードだよ。

プロムナードは「散歩」「歩くこと」という意味で、作品の冒頭や、いくつかの絵の曲の間に登場するんだ。

問32 イ

【解説】説明に合う曲は鶏の足の上に建つ小屋だよ。

ハルトマンが描いた、バーバ・ヤガーの小屋をかたどった時計のデザインをもとにしているんだ。

問33 ウ

【解説】説明に合う曲はキエフの大門だよ。「展覧会の絵」の最後を飾る終局で、堂々とした壮大な雰囲気が特徴なんだ。

